

NEC TODAY

■ 株主のみなさまへ



平成22年度 第2四半期累計期間
(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

日本電気株式会社

■ 株主のみなさまへ



代表取締役 執行役員社長

遠藤信博

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

当第2四半期累計期間の世界経済は、米国、欧州など先進国が景気対策効果の剥落もあり回復速度が鈍化しましたが、アジアを中心に新興国が堅調で、全般に緩やかな回復局面が続きました。日本経済は、景気回復の勢いが鈍化しつつあり、NECを取り巻く市場環境は、国内IT投資の回復遅れ、海外通信事業者の投資の停滞など、厳しい状況が続きました。

その結果、当第2四半期累計期間の連結売上高は前年同期に比べ11.2%減の1兆4,692億円、営業損益は前年同期に比べ388億円改善の11億円の利益となりました。これは、NECエレクトロニクス(株)(現ルネサス エレクトロニクス(株))が連結子会社でなくなったことに加え、キャリアネットワーク事業が減収となったことなどによるものです。

四半期純損益は、営業損益の改善などにより前年同期に比べ166億円改善したものの、270億円の損失となりました。

このような状況に鑑み、中間配当につきましては、誠に遺憾ではございますが、見送ることとさせていただきました。株主のみなさまには深くお詫び申しあげます。

NECは、本年2月に発表した中期経営計画「V2012 –Beyond boundaries, Toward our Vision–」の実現に向けて、三つの注力領域「C&Cクラウド戦略の推進」、「グローバル事業の拡大」、「新規事業の創出」における取り組みを進めています。当第2四半期累計期間においては、それぞれの領域で具体的な成果を着実に積み重ねました。

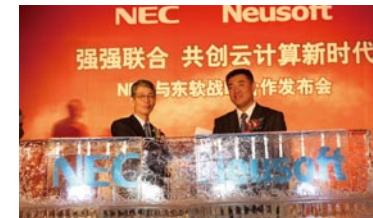
今年度は、「V2012」の初年度として大変重要な年であると考えております。業績目標の達成に向けてスピード感のある経営を実践するとともに、「NECグループビジョン2017」として掲げている“人と地球にやさしい情報社会をイノベーションで実現するグローバルリーディングカンパニー”に向けたマイルストーンとしての「V2012」の達成に向けて、強い意志を持ってチャレンジを続けてまいります。株主のみなさまには、引き続きご支援のほどよろしくお願ひいたします。

平成22年11月

■ 経営トピックス

中国・東軟集団とクラウドサービス事業で協業 クラウド グローバル

NECと東軟集団グループは、中国におけるクラウドサービス事業分野の協業に合意しました。中国・大連市に合弁会社を設立し、中国の企業、中国に進出する日系企業や欧米企業を対象として、最適で豊富なサービスメニューを整備し、信頼性の高い総合的なクラウドサービスを提供していきます。



携帯電話機事業の競争力強化に向けて グローバル 新規

NECの携帯電話機事業と(株)カシオ日立モバイルコミュニケーションズを統合し、NECカシオモバイルコミュニケーションズ(株)が6月から事業を開始しました。それぞれの高い技術開発力と商品企画力を組み合わせることにより相乗効果を發揮し、国内外に向け魅力ある商品を提供していきます。

自動車用電池を中心とした環境・エネルギー事業を本格展開 新規

NECは、日産自動車(株)との合弁会社であるオートモーティブエナジーサプライ(株)に供給する自動車用リチウムイオン二次電池の中核部品となる電極の量産をNECエナジーデバイス(株)(NECの100%子会社)において7月から開始しました。将来的には、電池事業を通じて培われる蓄電技術とITとネットワーク技術とを融合させることにより、スマートグリッド領域も含めた環境・エネルギー分野での新規事業を創出していきます。

小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還

6月、7年ぶりに地球に帰還した「はやぶさ」は、小惑星ITOKAWAから地表のかけらを採取し、地球に持ち帰るという、世界初の任務を担った探査機です。NECは、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の指導のもと、衛星システムの開発、製造、試験、運用に携わったほか、イオンエンジン、カメラ、距離センサ、通信システムなど、主要な搭載装置の開発も担当しました。NECは、これらの無線技術やセンサ技術をC&Cクラウド戦略関連事業にも応用していきます。



画像提供 池下章裕

■「V2012」の進捗(主な成果と取り組み)

中期経営計画「V2012 –Beyond boundaries, Toward our Vision–」の三つの注力領域、「C&Cクラウド戦略の推進」「グローバル事業の拡大」「新規事業の創出」における具体的な成果をご紹介します。

劇団四季のチケットレスサービスが稼動開始 クラウド

NECは、クラウド技術を活用し、チケットレスサービス「劇団四季スマートチケット」を構築しました。お客様は、劇団四季の予約サイトにアクセスして所定の手続を行えば、予約時に登録した携帯電話から取得するセキュリティ機能搭載QRコードを



スマートチケット利用シーン

専用リーダーにかざすだけで劇場に入場できます。また、紙のチケットから電子チケットに移行することで、チケットの転売抑止や紙の使用削減による環境配慮も同時に実現できます。

一方、劇団四季としても、チケットの印刷・郵送コストなどの経費削減が期待できるだけでなく、今後、来場者の情報を活用した一人ひとりの嗜好に合わせたサービスや情報提供を行うことが可能になり、販促活動の面でも大きな効果が期待されています。

NECは、このシステム構築を通じて培った経験とノウハウを活かして、さまざまな業界にチケットレスソリューションを提供していきます。

POSシステムのグローバル展開を加速 グローバル

NECは、中国の三大空港の一つである広州の白雲国際空港新ターミナル内の全店舗に導入されるPOSシステムを受注しました。POSシステムとは、各店舗および本部における販売管理、在庫管理、顧客管理などを行うためのシステムで、NECはPOS端末約200台と統合流通小売業管理システムを納入します。このシステムの導入により、同空港は

売上や顧客情報を安全に効率よく管理し、経営戦略の立案に活用するだけでなく、接客サービスのさらなる向上やデザイン性を重視した店舗作りを実現することができます。

NECは、今後も流通業向けソリューション事業のグローバル展開を加速していきます。

クラウド型総合教育システムの導入による教育インフラの改善 クラウド グローバル

NECは、アルゼンチン・サンファン州教育省に、クラウド・コンピューティング型総合教育システムを納入しました。このシステムは、教育省のデータセンターと、教育省の職員や州都サンファン周辺の小学校192校のために設置されたシンクライアント端末^{*1}をWi-Fi技術^{*2}による広域無線ネットワークで接続しています。本システムを通じて、電子メールやeラーニング^{*3}などの各種アプリケーションサービスが教育省から各学校にSaaS^{*4}形式で提供され、教育省と学校の情報共有や高度

な教育プログラムの実施、さらにはセキュリティの強化を図ることが可能になります。

NECではこの実績を活かして、ラテンアメリカ諸国にクラウド型総合教育システムを提案し、教育インフラの改善に貢献していきます。



シンクライアントを使う教員

エキスポ インターコンチネンタル 上海EXPOにIP電話システムを納入 グローバル

NECは、上海万博公式ホテルに認定されている「インターコンチネンタル 上海EXPO」に、大規模なIP電話システムを納入しました。

このIP電話システムは、中国語、英語、日本語など



客室内的IP電話機

5カ国語に対応しており、チェックインシステムと連携して、宿泊者名や国籍に応じた言語を自動的に表示します。また、宿泊客は電話機の画面からワンタッチでルームサービスの注文やレストランへの連絡、万博会場の案内情報や観光情報などを確認することができます。

NECは、今後も北京や蘇州などにある同グループ傘下の他のホテルに対して、IP電話を核としたユニファイド・コミュニケーションシステム^{*5}を順次展開していく予定です。

*5 電話・メール・テレビ会議・Web会議などのさまざまなツールを統合した効率的なコミュニケーションシステム。

■ 新製品紹介

クラウドを活用した新しいヘルスケアサービスの創造

クラウド グローバル 新規

NECは、疾患の早期発見や、個々人の医薬品への反応性を検査して、不要な医薬品の処方を減らし、特定の人に対する新しい医薬品開発を推進する



ことができる“次世代血液検査サービス”的事業化に取り組んでいます。

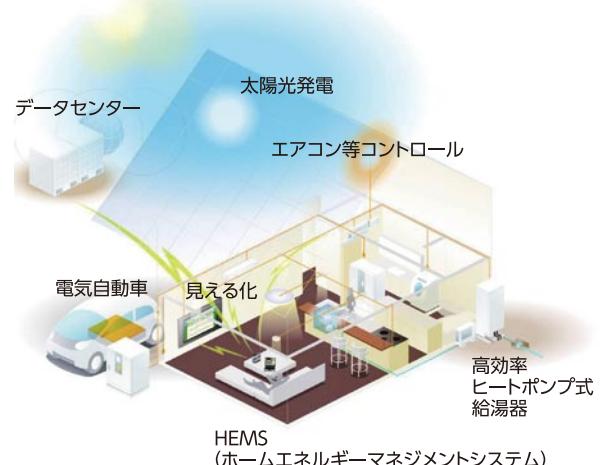
このサービスは、SomaLogic社(米国)が持つ一滴の血液から疾患に関連するタンパク質の量を確実に測定する技術と、NECのクラウドサービス基盤をはじめとするIT技術を組み合わせて、日本のみならず北米など海外の製薬会社や研究機関、病院などを対象として提供される予定です。

NECは、医療・ヘルスケアの分野でも社会に貢献していきます。

積水化学工業(株)とスマートハウス領域で事業提携し、家庭の省エネへ貢献

クラウド 新規

NECは、積水化学工業(株)と、次世代型住宅(スマートハウス)の中核技術であるホームエネルギー・マネジメントシステム領域に関して業務提携を行いました。太陽光発電設備付き住宅において、累積販売実績第1位の積水化学工業が研究・蓄積してきたノウハウと、NECが持つクラウド構築の実績を組み合わせ、家庭内のエネルギー利用を見える化し、10%以上の省エネの実現を目指します。今後、NECが電力測定装置とパソコンでエネルギー消費量を表示するアプリケーションを開発し、積水化学工業が製品の最終評価を行った上で、太陽光発電設備付きの戸建て住宅に搭載し、販売していきます。



防水防塵の薄型ボディに瞬撮カメラを搭載したスリムケータイ [docomo STYLE series N-02C]*1

NECの洗練されたスリムケータイが、防水防塵に初対応。起動から保存まで世界最速約1.1秒^{*2}の1320万画素瞬撮カメラはシャッターチャンスを逃しません。文字入力と画面切替が速い「さくさくメール™」で快適にメールが作成できます。

*1 「docomo STYLE series」は(株)NTTドコモの商標です。

*2 800万画素以上静止画撮影時(2010年10月14日現在NECカシオモバイルコミュニケーションズ(株)調べ)。起動から保存までの約1.1秒は最短値であり、条件により長くなる場合があります。



3D映像やデジタル放送を高画質・高音質で楽しめる 一体型AVパソコン「VALUESTAR W VW970/CS」

フルHD 23型ワイド液晶、「YAMAHAサウンドシステム」やブルーレイディスクドライブを搭載。デジタル放送3波^{*3}の視聴に対応し、録画機能も充実。3D映像を美しく、かつ臨場感あふれる音で楽しめます。

*3 地上デジタル、BS、110度CS。



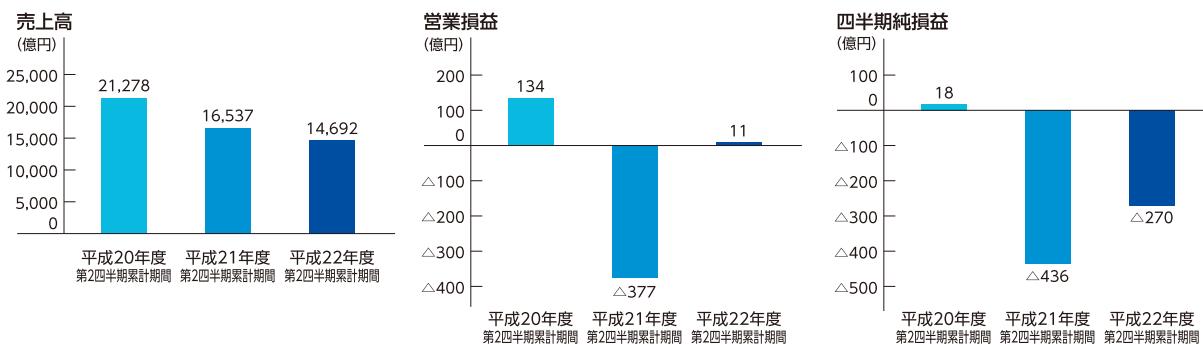
Android™搭載の新情報端末「LifeTouch」

携帯電話機の約4倍の7インチタッチパネルを搭載。約370gの軽量・薄型デザインにより、見やすさと持ち歩きやすさを両立。新しい多機能端末が順次登場していきます。

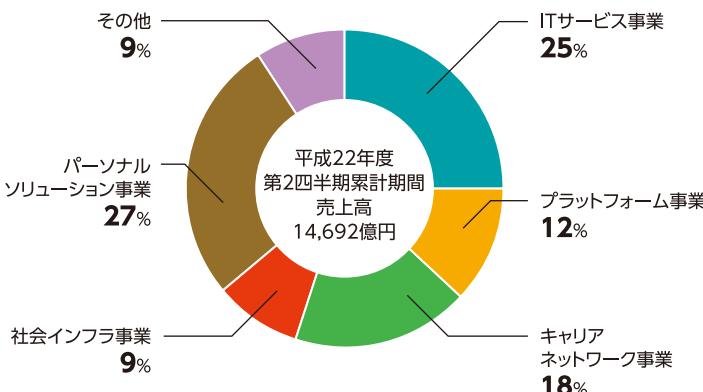


■連結決算(主要指標)

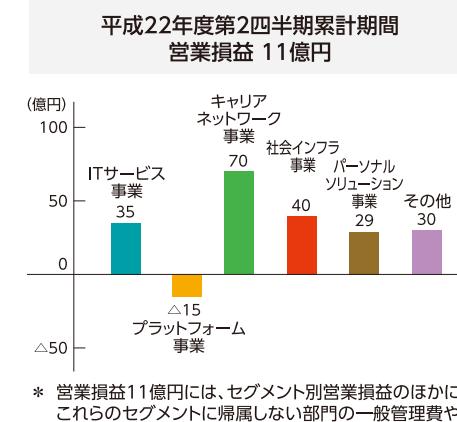
売上高	14,692億円 (前年同期比 11.2%減)	NECエレクトロニクス(株)が連結子会社でなくなったことに加え、キャリアネットワーク事業での売上の減少などにより減収となりました。
営業損益	11億円 (前年同期比 388億円改善)	前年同期に営業損失を計上したNECエレクトロニクス(株)が連結子会社でなくなったことなどにより改善しました。
四半期純損益	△270億円 (前年同期比 166億円改善)	



■セグメント別売上高比率



■セグメント別営業損益



■連結決算(セグメント情報)

ITサービス事業

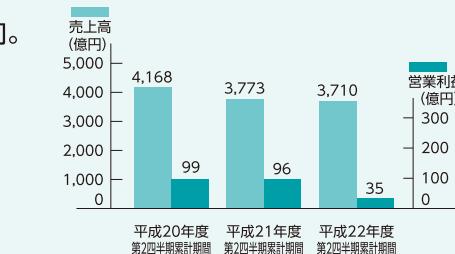
自治体や企業向けに、コンピュータシステムの構築や運用管理などのサービスを提供しています。



営業利益

35億円 (前年同期比 60億円悪化)

- 売上の減少や、サービス関連事業・グローバル事業の拡大に向けた投資の増加により減益。



プラットフォーム事業

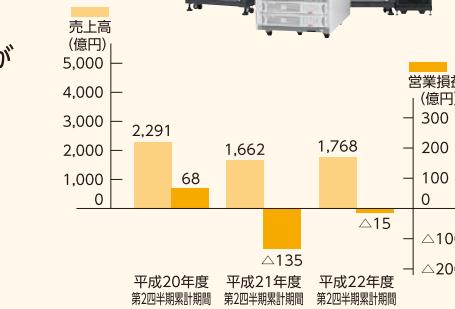
サーバ、スーパーコンピュータなどの各種コンピュータやソフトウェア、オフィスやホテル向けの企業ネットワークシステムなどを提供しています。



売上高

1,768億円 (前年同期比 6.4%増)

- ソフトウェアや企業向けネットワークが堅調に推移したことなどにより増収。



キャリア ネットワーク 事業



売上高比率
18%

固定電話網や携帯電話網を構築するための設備や、
ネットワークの運用サービスなどを
通信事業者に提供しています。

売上高

2,710億円 (前年同期比 12.2%減)

- 海外向け無線通信機器の減少、
海洋システムの契約手続の
遅れなどにより減収。

営業利益

70億円 (前年同期比 54億円悪化)

- コスト削減を行ったものの、
海外における売上の減少などにより減益。



社会インフラ 事業



売上高比率
9%

放送映像システム、人工衛星などの
航空宇宙システム、防衛システムなどを
提供しています。



携帯電話機、パソコン、
インターネット・サービス「BIGLOBE」
などを提供しています。

売上高

3,921億円 (前年同期比 8.2%増)

- 携帯電話機の販売不振の
影響があったものの、
パソコンの好調などにより増収。

営業損益

29億円 (前年同期比 53億円悪化)

- 携帯電話機の売上の減少など
により減益。



パーソナル ソリューション 事業

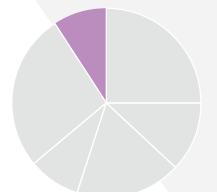


売上高比率
27%

自動車などに搭載される
リチウムイオン二次電池用電極などの
電子部品を提供しています。



その他



売上高比率
9%

■ NECエレクトロニクス(株)が連結子会社で
なくなったことなどにより減収。

営業損益

30億円 (前年同期比 406億円改善)

- 前年同期に営業損失を計上した
NECエレクトロニクス(株)が連結子会社で
なくなったことなどにより改善。



連結決算

貸借対照表

科目	平成21年度 年度末 (22. 3. 31)	平成22年度 第2四半期末 (22. 9. 30)	科目	平成21年度 年度末 (22. 3. 31)	平成22年度 第2四半期末 (22. 9. 30)
資産の部					
流動資産	16,430	13,226	流動負債	12,781	11,371
現金及び預金	1,951	1,295	支払手形及び買掛金	5,225	4,321
受取手形及び売掛金	7,734	6,378	短期借入金	692	301
有価証券	1,367	319	コマーシャル・ペーパー	220	480
商品及び製品	1,099	1,130	1年内返済予定の長期借入金	1,695	1,305
仕掛品	1,211	1,202	1年内償還予定の社債	198	977
原材料及び貯蔵品	846	674	未払費用	1,757	1,533
繰延税金資産	933	940	前受金	656	660
その他	1,349	1,349	製品保証引当金	279	251
貸倒引当金	△ 60	△ 60	役員賞与引当金	3	3
固定資産	12,947	11,995	工事契約等損失引当金	141	113
有形固定資産	5,541	3,503	債務保証損失引当金	110	89
建物及び構築物(純額)	2,075	1,507	事業構造改善引当金	116	94
機械及び装置(純額)	1,330	448	偶発損失引当金	109	69
工具、器具及び備品(純額)	777	622	その他	1,582	1,173
土地	919	768	固定負債	7,276	5,313
建設仮勘定	439	158	社債	2,577	1,500
無形固定資産	2,189	2,082	長期借入金	1,589	1,456
のれん	975	934	繰延税金負債	89	16
ソフトウェア	1,173	1,122	退職給付引当金	2,376	1,798
その他	42	27	製品保証引当金	16	19
投資その他の資産	5,217	6,410	電子計算機買戻損失引当金	94	79
投資有価証券	1,512	1,320	リサイクル費用引当金	65	69
関係会社株式	895	2,094	事業構造改善引当金	11	15
繰延税金資産	1,408	1,743	偶発損失引当金	112	99
その他	1,500	1,335	その他	347	262
貸倒引当金	△ 98	△ 83	負債合計	20,057	16,684
純資産の部					
株主資本			株主資本	8,036	7,658
資本金			資本金	3,972	3,972
資本剰余金			資本剰余金	1,928	1,928
利益剰余金			利益剰余金	2,164	1,787
自己株式			自己株式	△ 29	△ 29
評価・換算差額等			評価・換算差額等	△ 126	△ 304
その他有価証券評価差額金			その他有価証券評価差額金	102	△ 7
繰延ヘッジ損益			繰延ヘッジ損益	1	△ 2
為替換算調整勘定			為替換算調整勘定	△ 229	△ 295
新株予約権			新株予約権	1	0
少数株主持分			少数株主持分	1,409	1,183
純資産合計			純資産合計	9,319	8,538
資産合計	29,376	25,221	負債純資産合計	29,376	25,221

損益計算書

科目	平成21年度 第2四半期累計期間 (21. 4. 1 - 21. 9. 30)	平成22年度 第2四半期累計期間 (22. 4. 1 - 22. 9. 30)
売上高	16,537	14,692
売上原価	11,634	10,394
売上総利益	4,903	4,297
販売費及び一般管理費	5,280	4,286
営業利益又は営業損失(△)	△ 377	11
営業外収益	98	90
受取利息	7	6
受取配当金	25	23
持分法による投資利益	11	—
その他	55	60
営業外費用	220	323
支払利息	49	35
持分法による投資損失	—	147
退職給付費用	72	60
為替差損	12	23
固定資産廃棄損	28	—
その他	58	58
経常損失(△)	△ 499	△ 223
特別利益	24	27
債務保証損失引当戻入額	—	16
投資有価証券売却益	1	9
事業譲渡益	—	2
関係会社株式売却益	0	1
新株予約権戻入益	0	0
固定資産売却益	16	—
リサイクル費用引当戻入益	7	—
特別損失	52	239
事業構造改善費用	19	94
持分変動損失	—	60
投資有価証券評価損	3	32
減損損失	8	18
製品不具合対策費用	14	17
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	14
関係会社株式売却損	2	4
固定資産除却損	3	—
債務保証損失引当金戻入額	3	—
投資有価証券売却損	0	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 527	△ 435
法人税等	11	△ 194
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△ 241
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 102	30
四半期純損失(△)	△ 436	△ 270

キャッシュ・フロー計算書

科目	平成21年度 第2四半期累計期間 (21. 4. 1 - 21. 9. 30)	平成22年度 第2四半期累計期間 (22. 4. 1 - 22. 9. 30)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	7	99
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 527	△ 435
減価償却費	705	416
持分法による投資損益(△は益)	△ 11	147
持分変動損益(△は益)	—	60
売上債権の増減額(△は増加)	1,277	899
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 156	△ 319
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 672	△ 442
法人税等の支払額	△ 174	△ 147
その他	△ 436	△ 80
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 545	△ 1,127
有形固定資産の取得及び売却	△ 371	△ 317
無形固定資産の取得による支出	△ 154	△ 159
投資有価証券等の取得及び売却	△ 70	△ 591
その他	50	△ 59
フリー・キャッシュ・フロー(I+II)	△ 538	△ 1,028
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	29	184
社債及び借入金の純増減額(△は減少)	43	287
配当金の支払額	△ 0	△ 104
その他	△ 14	0
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 9	△ 43
V. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 518	△ 886
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	3,173	3,305
VII. 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△ 928
VIII. 合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	97
IX. 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,655	1,588

個人株主・投資家向けIR活動

個人投資家向け会社説明会のご報告

NECとして初めての個人投資家向け説明会を大和証券(株)の全国10支店で開催し、合計で約600名の個人投資家のみなさまにご参加いただきました。説明会では、NECの事業内容、業績および中期経営計画「V2012」の概要をご説明し、みなさまからは、株主還元の考え方や中期経営計画における注力事業などについて、ご質問をいただきました。



今後もこのような説明会を継続的に実施し、個人株主・投資家のみなさまとのコミュニケーションの充実に努めています。

IRホームページのご紹介

NECのIRホームページでは、説明会などの資料、財務・業績情報、株式・債券情報などを掲載し、内容の充実に努めています。個人投資家のみなさまにNECをよりよくご理解いただくための専用ページも設けており、事業内容、業績、株主還元や成長戦略などご関心の高い情報を写真や図表を用いてわかりやすく掲載しています。

IRトップページ



個人投資家のみなさまへ



<http://www.nec.co.jp/ir>

または、

nec ir で検索

IRメール配信サービスのご案内

決算発表予定日、決算発表資料、刊行物などのお知らせ、主なプレスリリースの掲載など、IRホームページの更新情報を電子メールにてお知らせしています。こちらからお申込みいただけます。

<http://www.nec.co.jp/ir/M>

会社の概況(平成22年9月30日現在)

会社の概要

社名 日本電気株式会社 (NEC Corporation)
本社 東京都港区芝五丁目7番1号
設立 1899年(明治32年)7月17日
資本金 3,972億円
従業員数 117,388名(連結) 23,967名(単独)
ホームページ <http://www.nec.co.jp>

株式の状況

会社が発行する株式の総数 7,500,000,000株
発行済株式の総数 2,604,732,635株
株主数 280,456名

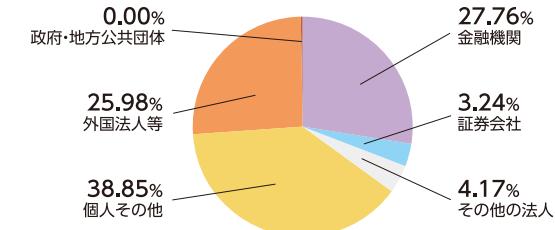
大株主(上位10名)

	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	128,394	4.94
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	101,405	3.90
エスエスピー・オーディー05 オムニバス アカウント -トリーティクリアソウ	58,876	2.27
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	54,351	2.09
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口4)	45,149	1.74
NEC従業員持株会	43,846	1.69
日本生命保険(相)	41,977	1.61
住友生命保険(相)	41,000	1.58
ザ チェース マンハッタン バンク エヌ エイ ロンドン エスエーシーエス レンディング オムニバス アカウント	37,308	1.44
第一生命保険(株)	24,568	0.95

*千株未満を切り捨てて表示しています。

*持株比率は、自己株式(5,354,169株)を控除して計算しています。

所有者別状況



・本報告書に記載されている億円単位の業績数値は、億円未満を四捨五入して表示しています。

・本報告書に記載されている計画および戦略は、将来の予測であって、リスクや不確定要素を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要素により、これらと大きく異なる結果となる場合があります。

・NECIは、日本電気株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。その他すべての名称は、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

取締役および監査役

代表取締役 会長 矢野 薫
代表取締役 執行役員社長 遠藤 信博
代表取締役 執行役員副社長 岩波 利光
代表取締役 執行役員副社長 藤吉 幸博
取締役 執行役員専務 小野 隆男
取締役 執行役員専務 安井 潤司
取締役 執行役員常務 峯野 敏行
取締役 執行役員常務 國尾 武光
取締役 執行役員常務 富山 卓二
取締役 執行役員常務 木下 学
取締役 森川 敏雄
(株式会社三井住友銀行 名誉顧問)

取締役 原 良也
(株式会社大和証券グループ本社 最高顧問)

取締役 野原 佐和子
(株式会社イプシ・マーケティング研究所
代表取締役社長)

取締役 宮原 賢次
(住友商事株式会社 名誉顧問)

取締役 高橋 秀明
(慶應義塾大学院
政策・メディア研究科教授)

監査役 (常勤) 鹿島 浩之助
監査役 (常勤) 妹尾 賢治
監査役 横山 進一
(住友生命保険相互会社
取締役会長 (代表取締役))

監査役 伊東 敏
(公認会計士)
監査役 中川 了滋
(弁護士)

*取締役 森川敏雄、原 良也、野原佐和子、宮原賢次および高橋秀明の5氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
監査役 横山進一、伊東敏および中川了滋の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

当社は、森川敏雄、原 良也、野原佐和子、宮原賢次、高橋秀明、横山進一、伊東敏
および中川了滋の各氏を、当社が株式を上場している東京、大阪、名古屋、福岡お
よび札幌の各金融商品取引所がそれぞれ定める一般株主と利益相反の生じるお
それのない独立役員として、各金融商品取引所に対して届出ています。

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号 (03)3454-1111

■株主メモ

事業年度 每年4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 每年6月

定時株主総会の基準日 每年3月31日

剰余金の配当の基準日

期末配当金 每年3月31日

中間配当金 每年9月30日

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

(インターネットホームページアドレス)

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告方法

当社の公告方法は、電子公告(当社ホームページへの掲載)とします。
ただし、電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法とします。

(公告用ホームページアドレス) <http://www.nec.co.jp>

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

住所変更等のお届出およびご照会は、証券会社に口座を開設されている株主さまにつきましては、口座をお持ちの証券会社宛に、それ以外の株主さまにつきましては、上記の住友信託銀行株式会社の電話照会先にお願いいたします。

NECグループビジョン2017

人と地球にやさしい情報社会を
イノベーションで実現する
グローバルリーディングカンパニー

